

令和5年度第8号 令和5年11月13日 発行



色とりどりの花火にうっとり

日が暮れる時間が一段と早くなり、朝晩の冷え込みに晩秋の訪れを感じる季節となりました。鮮やかな紅葉が目に映えるようになってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

三納の里では、入居者様と職員で花火大会を実施しました。数年ぶりのイベントかつ、 夜の時間帯に外出するのは久しぶりだったので、皆様とても高揚した様子でした。色と りどりのきれいな花火が夜空に打ち上がり、とても有意義な時間を過ごすことができま した。

私たち日本人にとって身近な花火ですが、実は花火の原料となる火薬が発明されたのは、 今からなんと2000年以上も前のことだったそうです。ちなみに日本で初めて花火を見た 人は、戦国の世を終わらせ、江戸幕府を開いた徳川家康だといわれています。家康が見 た花火はイギリス王国から贈られたもので、筒の中に詰めた火薬が火柱のように上がる 「手筒花火」だったと伝えられています。

そんな歴史ある花火を入居者様と一緒に楽しむことができた特別な夜でした。







おいしいスイートポテトに、にっこり笑顔

三納の里では月に一回、ユニットごとにお茶会を行っています。

「空の街」では、今が旬のサツマイモを使ってスイートポテトを作り、入居者様に召し上がっていただきました。

皆様が大好きなサツマイモのお菓子ということもあり、おいしそうに食べていました。食べ終わった後は「おいしかった」「また作って」といった声もあり、終始笑顔が絶えない素敵なお茶会になりました。



アートクラブ再開しました!

コロナウイルスの制限が5類に下がり、三納の里でも中止していた交流活動が少しずつ再開 できるようになってまいりました。

今回のアートクラブは、椿・リンドウ・秋桜などのお花の塗り絵をしました!

皆さん集中しながら黙々と色塗りをしており、個性豊かな色とりどりのお花がたくさん咲いていました®

11月からアートクラブ以外にも、パン屋さんが地域交流スペースでの販売が始まり、体操 教室も再開することになりました!!

これからも、皆様が楽しく過ごすことが出来るよう心掛けながら職員一同頑張ってまいります。













職員紹介

職名:介護(森の街リーダー)

氏名:濵砂 誠二

○:入職して10年目になり

ました。

初心を忘れず、丁寧にケアを

していきたいです。

座右の銘:雨垂れ石を穿つ 最近は、フルマラソンに向け てぼちぼち走っています。



この広報誌以外にも三納の里の ホームページのブログ・

Instagram・Facebookでも日常の様 子を紹介しているので、ぜひ見て

URL:https://sanseikai-sw.jp/

三納の里



QRコードからホー ムページに お入り頂けます。

